

279

東 京 圖 書 館

和 書 門

遊 校 類

函

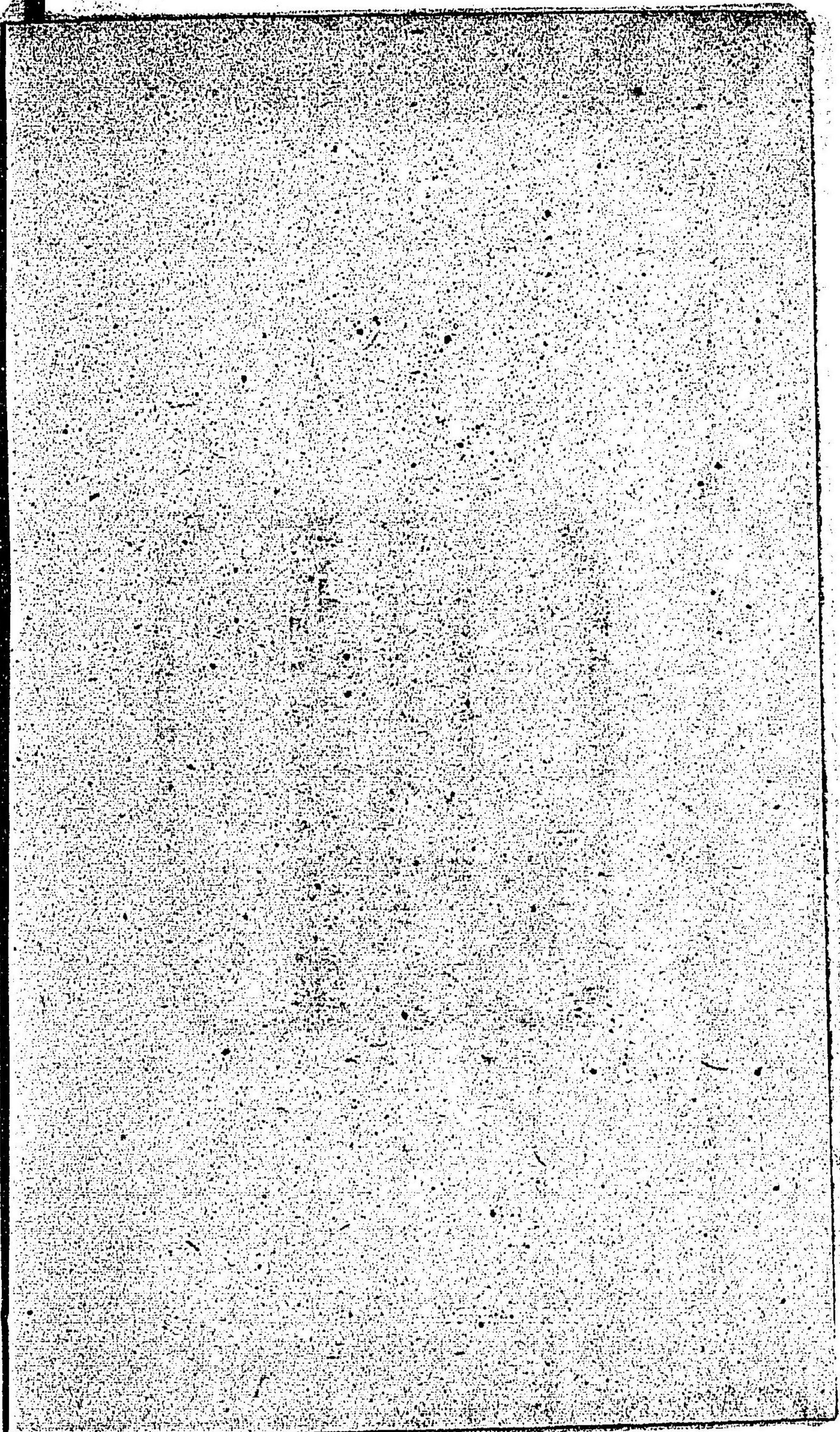
別 一 架

三 八 四 號

二 冊

造 趣 向 種
乾

博學社
圖書
發行



二見の浦

敷屋用具一式

○岩の赤貝

○注連縄折詰用の細繩 水引

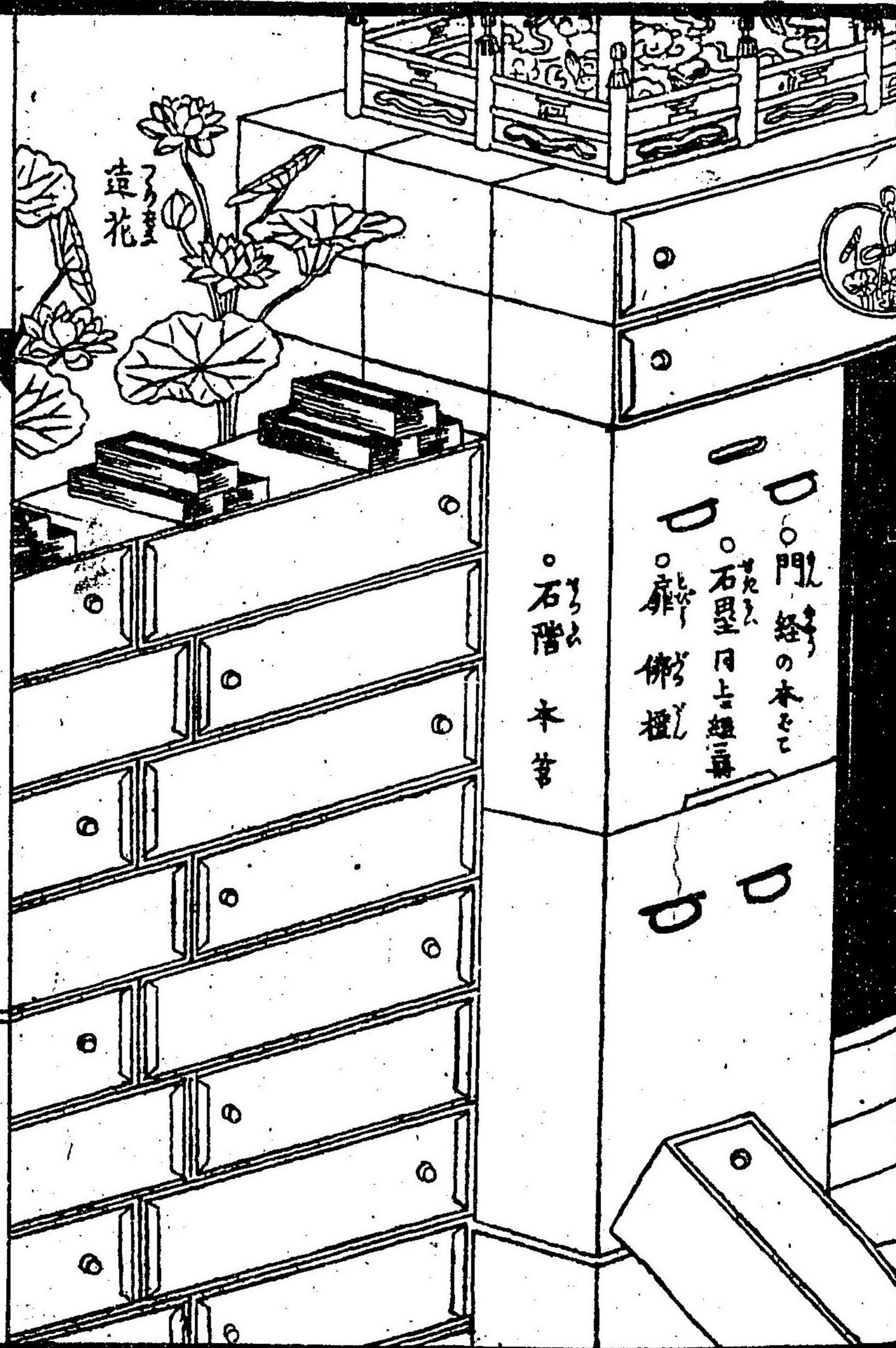
○四手石の銘札 ○霞すゝや志丁

○磯端小岩赤貝 ○日まの太鼓

○奉詣旅人笠あし ○合羽袋

○足らぬの角又ハ鳥貝をうけて全具

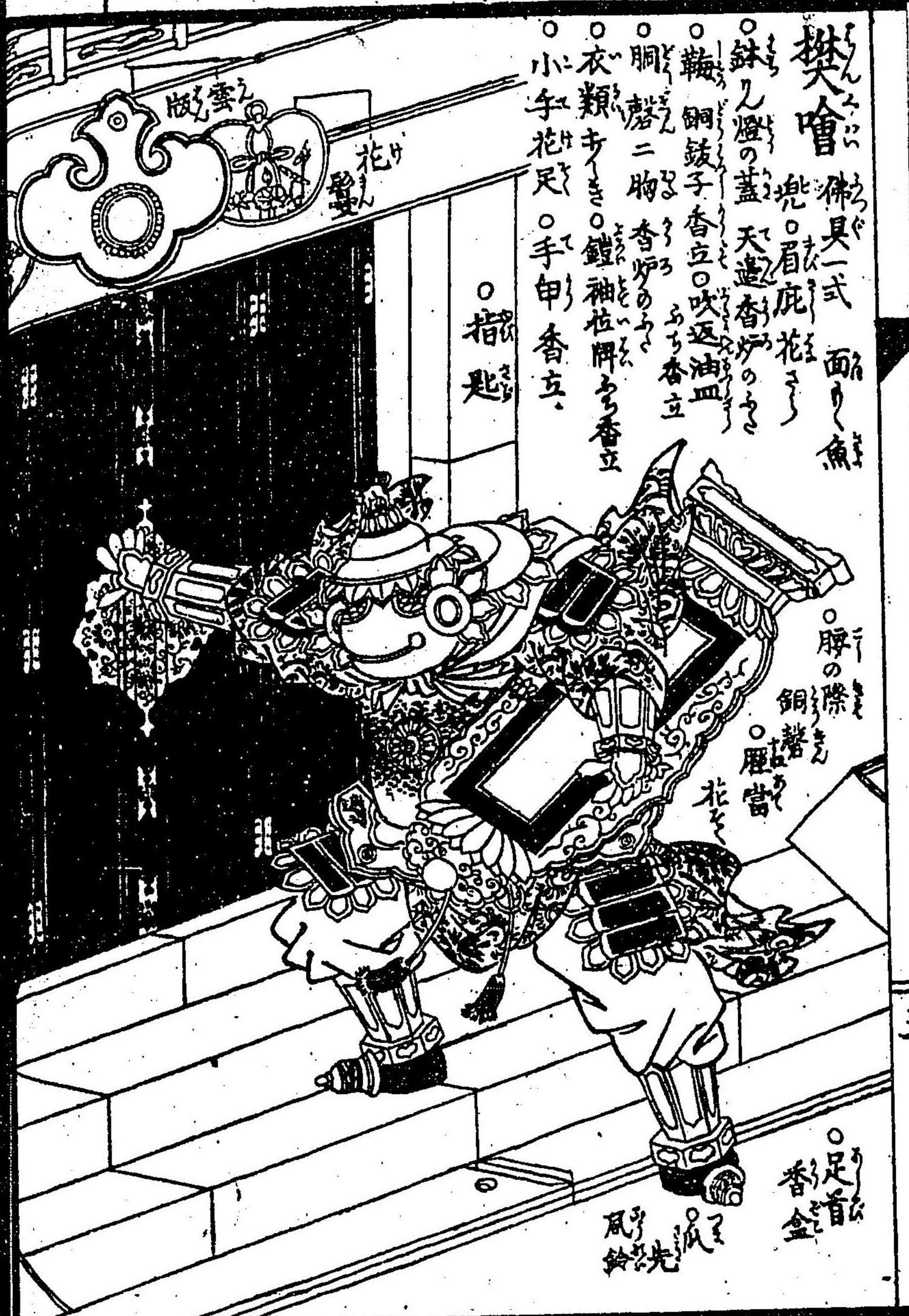




蓮花

石階 木筥

門 終の本
石 墨 日 上 煙 草
藤 佛 櫃



樊 噲

佛具一式 面り魚
鉢 入 燈 の 蓋 天 邊 香 炉 の 湯
鞆 銅 鼓 子 香 立 吹 返 油 皿
胸 磨 二 物 香 炉 の 湯
衣 類 歩 き 鐘 袖 袴 牌 香 立
小 手 花 足 手 巾 香 立

指 匙

腰 の 際
銅 磨 子
雁 當
花 立

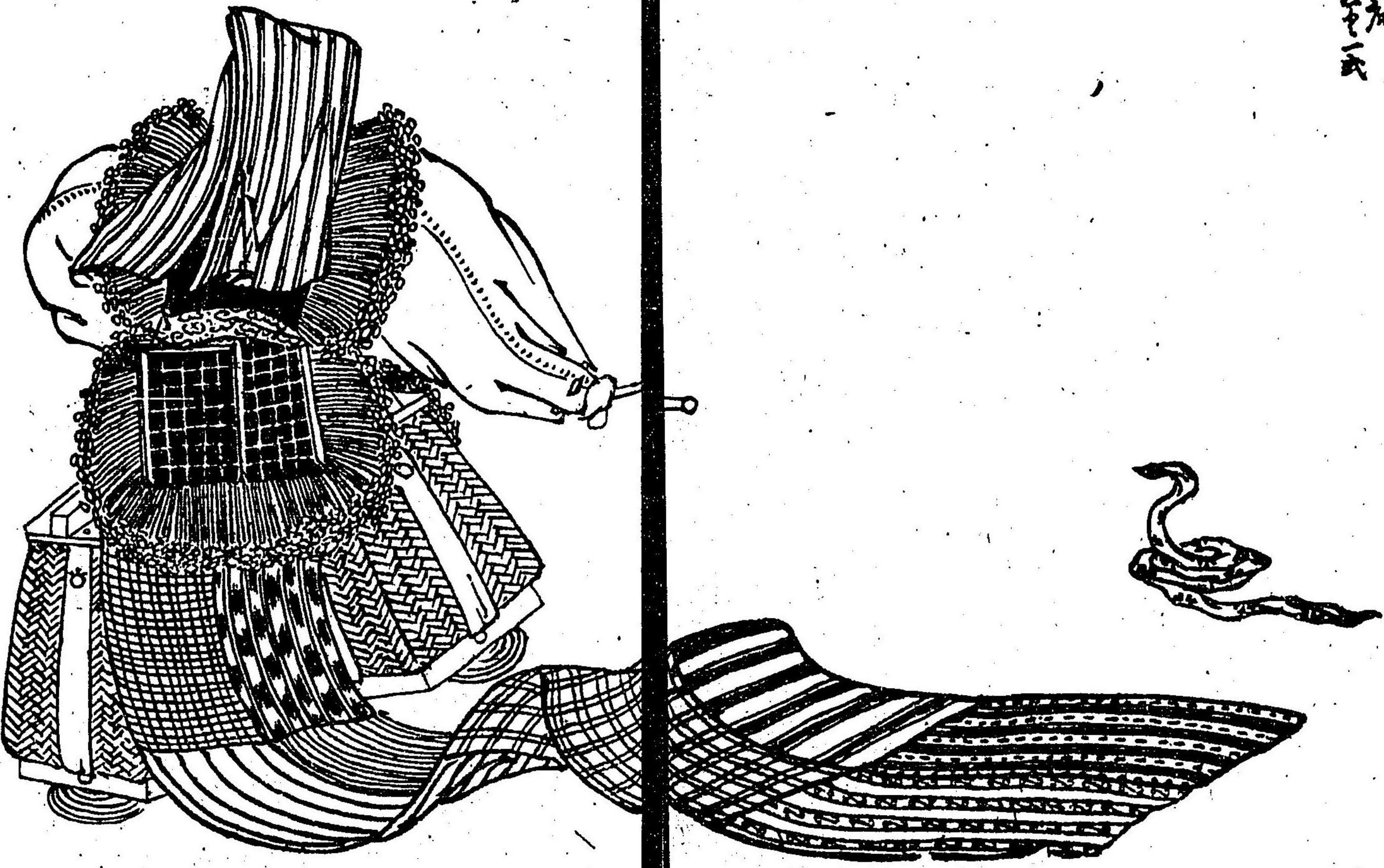
足 首
香 金

風 鈴 先

けんちやく
還城樂 古昔
ひやう

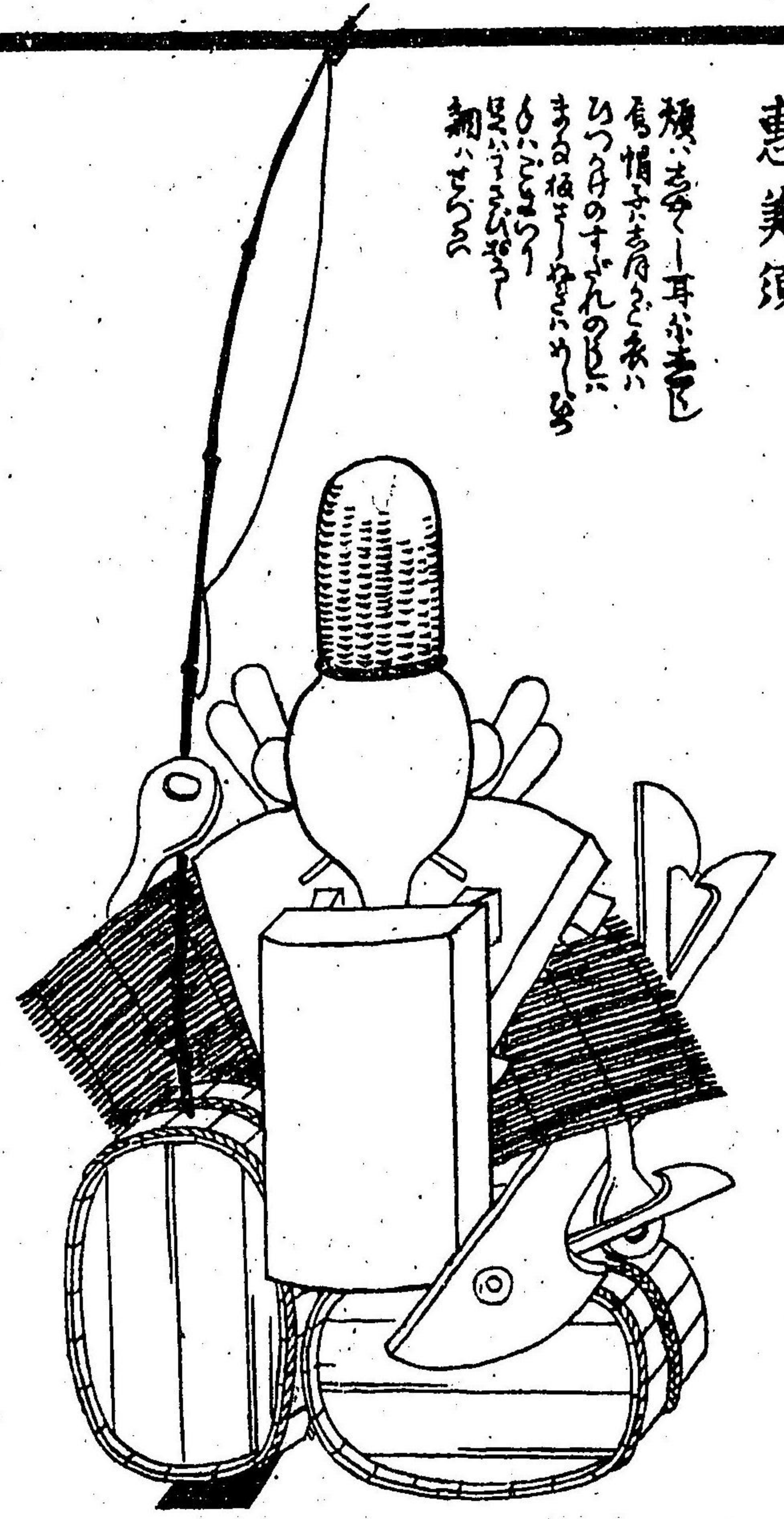
面帽子
大さ
打
か
ひ
ね
地

丹羽桃溪作



惠美須

種々一耳の
馬指の
りつりつ
まのね
の
新



拾粟作

大黒天 鑄もの一式

新
金
の
糸
ハ
の
依



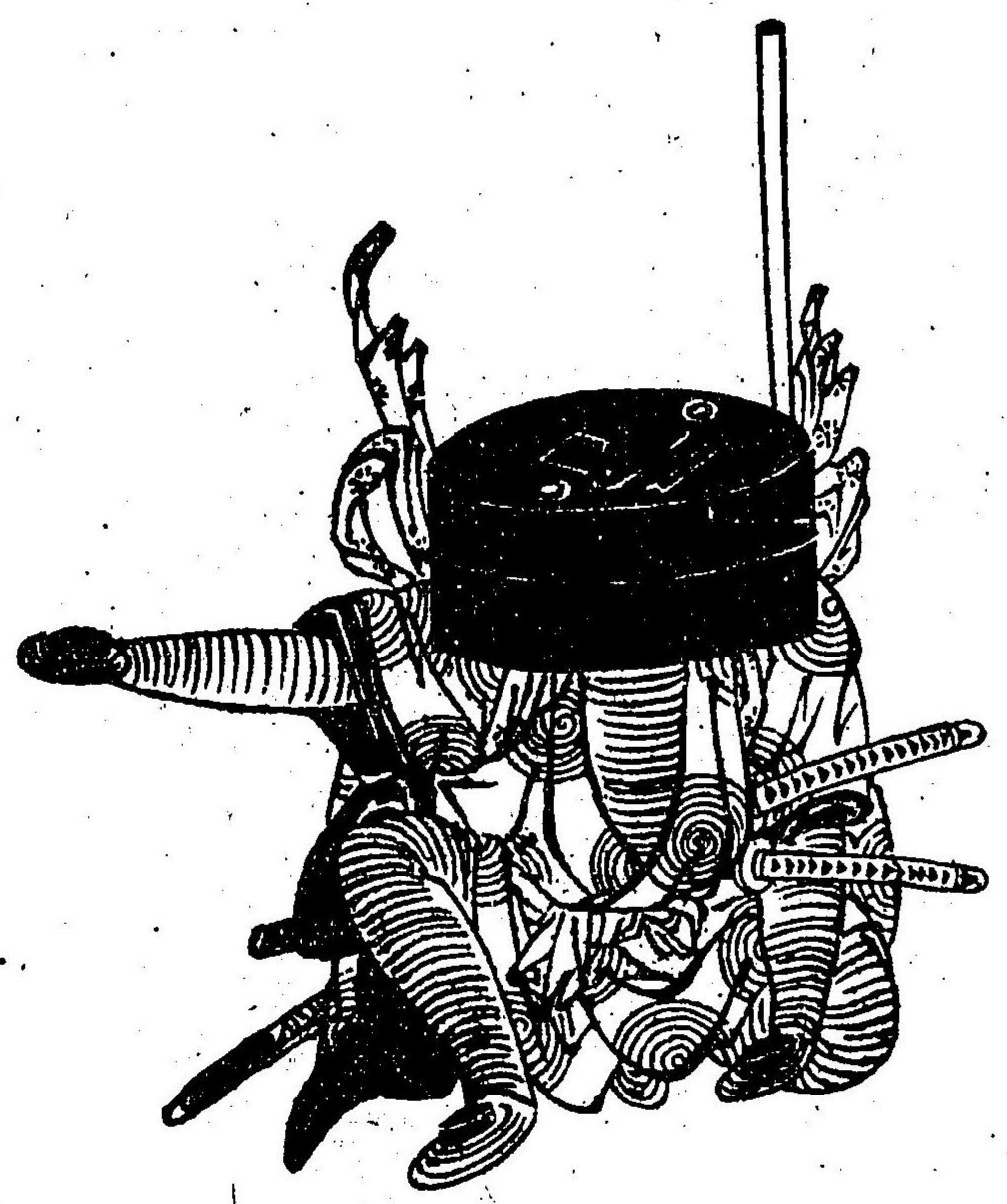
集初亭
文雅作

猿島敵討
地灯



蟹ハ地灯の
りハハ
月ハ地灯の
り
くハ熱
地灯の袋
引ハ箱
地灯
地灯ハ
地灯の袋
網の
と

丹羽桃溪作



獅々 家入道具

○頭 へんす

○目 けみ

○鼻 手まの

○齒 ねこ

○舌

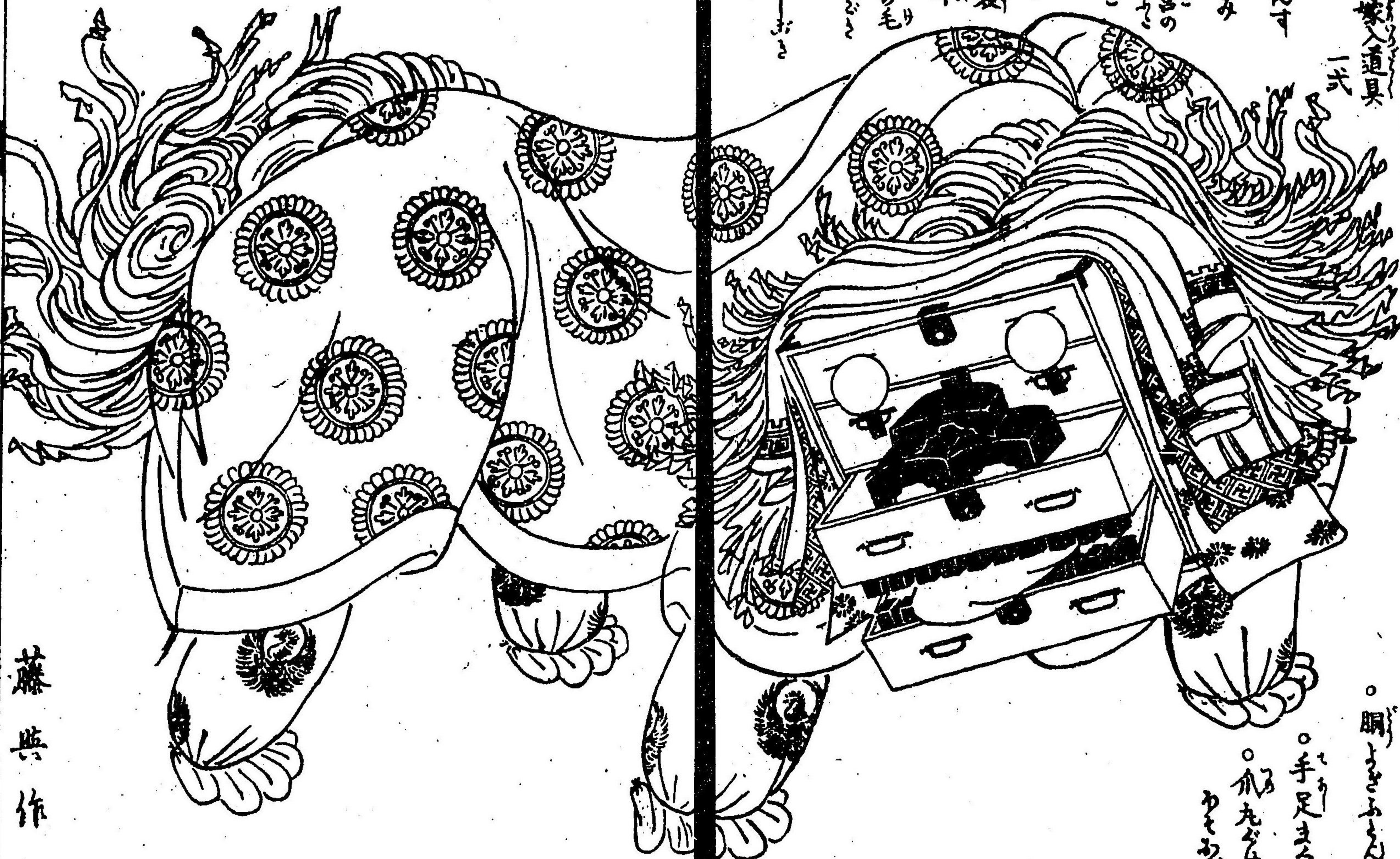
○衣 装

○耳 帯

○か しの毛

ひーご

○尾 ひーご



○胴 よふん

○手足 まる

○爪 丸

かき

藤 興 作

虎 荒物一式

- 全身あつり 荒布の斑
- 目わらわら 歯同 鬃あつた
- 爪かき 岩桃皮 苦
- 耳の内々 貝
- けいん
- めい

弾丸

千貫の非也

きこえあん

又と難い

けいおの序

技野 同九

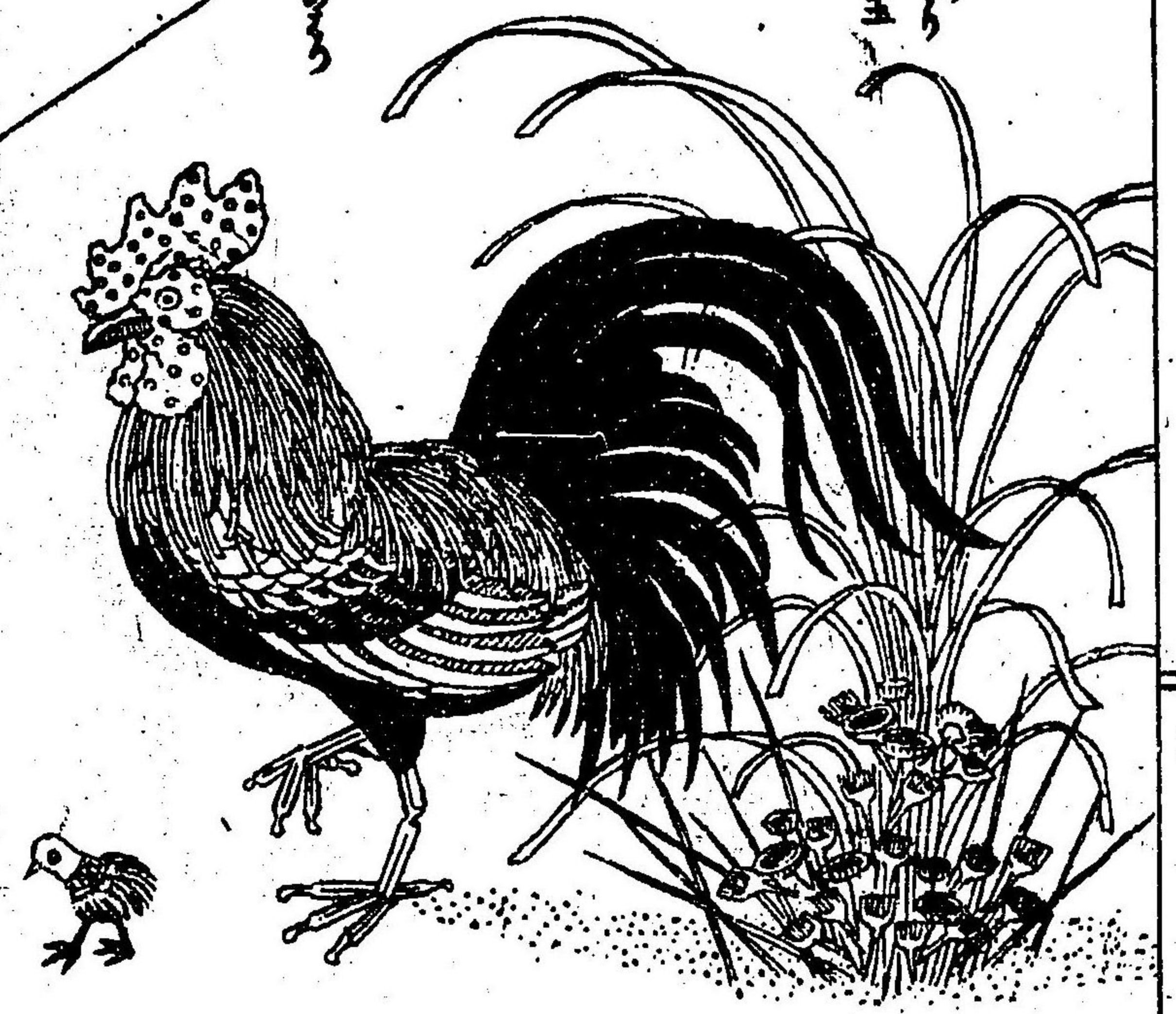


鶏 化粧具一六

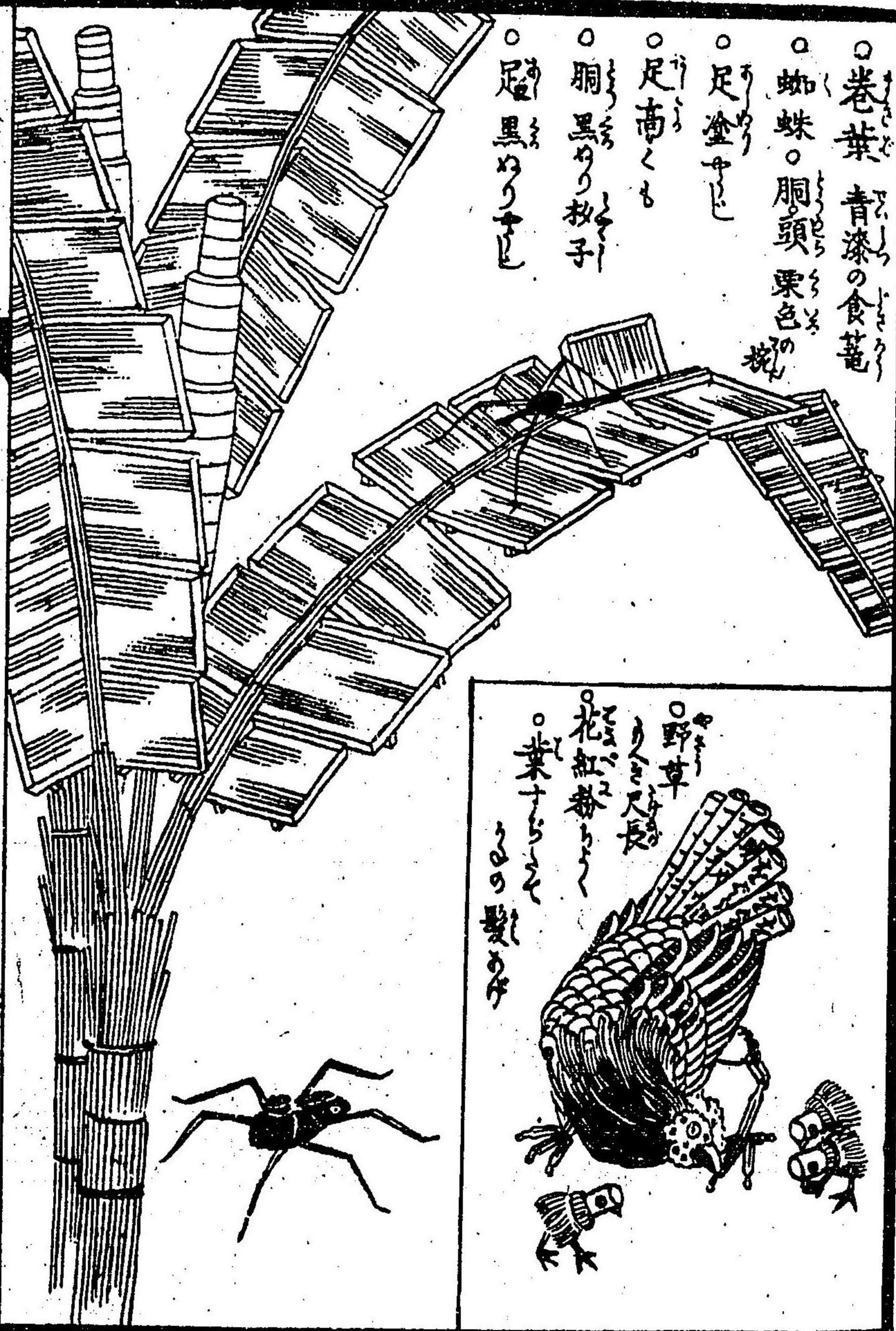
- 背つげの櫛 ○頭を飾る非冠子
- 首毛 真鍮のびんころり ○目白 羽の玉
- 脊の羽 かわるるびんころり 粉入 始見
- 手羽 つげのくし びんころり
- 簀毛 真鍮のびんころり
- 腹毛 尾 ころり 足甲のまじり
- 堆鳥 同 ○手羽 つげのくし
- 腹毛 眉のくし ○尾 びんころり
- 雛鳥 眉のくし ○足 びんころり

芭蕉 蜘蛛 塗物 一六

葉 青漆 筋の吸物 軸黄の塗物



- 巻葉 青漆の食菴
- 蜘蛛 胴頭 栗色の梳
- 足塗 中じ
- 足高 くるも
- 胴 黒りの杓子
- 尾 黒りの杓子



○野草
○花紅 赤い
○葉 赤い
○赤い 赤い

鶴つる
一いつ式しき

色鮮いろあざやか
女中のおんなぢゆう巻まき
此節こゝ
三子さんし
三子さんし
三子さんし
三子さんし
三子さんし



二に力りき連れん
朱丸しゆわん作さく

福ふく禄ろく壽じゆ
散さん礼れい用よう具ぐ
一いつ式しき

- 頭かぶ島しま臺たい○目めままりり○鼻はなままりり○齒はままりり
- 口くちままりり○齒はままりり○鼻はなままりり
- 髮かみ眉まゆ毛げ髭ひげ鬚す○霜しも○雪ゆき
- 耳みみのの内うち卷まきすす解とけけ
- 胸むね大おほ三さん方ほう○頭かぶ巾きん綿わた巾きん
- 袖そで袴はかま衝つ重じゆう
- 手て耳みみかかりりけけ○足あし雲うみわわりりけけ
- 團だん朱しゆ○丸まる二に目め柄がら○揚あ枝えだ
- 松まつ竹たけ梅うめ○りり○ららみみ



三さん一いつ丸まる○
朱丸しゆわん作さく

朱丸しゆわん作さく

草摺引 塗物 式

○五郎頭朱重食籠

○髪黒蓋臺茶盆

○目塗ニド

○手朱

○塗瓶子

○手先

○胴塗行器

○着附重管のふ

○草摺重をこのふ

○かじ赤やう

○足朱重食籠
○足首横長の盆の

○大刀つる茶盆
○柄双六の筒



○朝比奈 ○頭食籠 ○頼回蓋

○目々のに ○髪黒平のふ

○鬘黒とらん ○根らりやう

○腕食籠 ○手らんやう

○着付重管のふ

○大紋の素籠長袴

○黒堀重のふ

○椽春慶重管同枕回

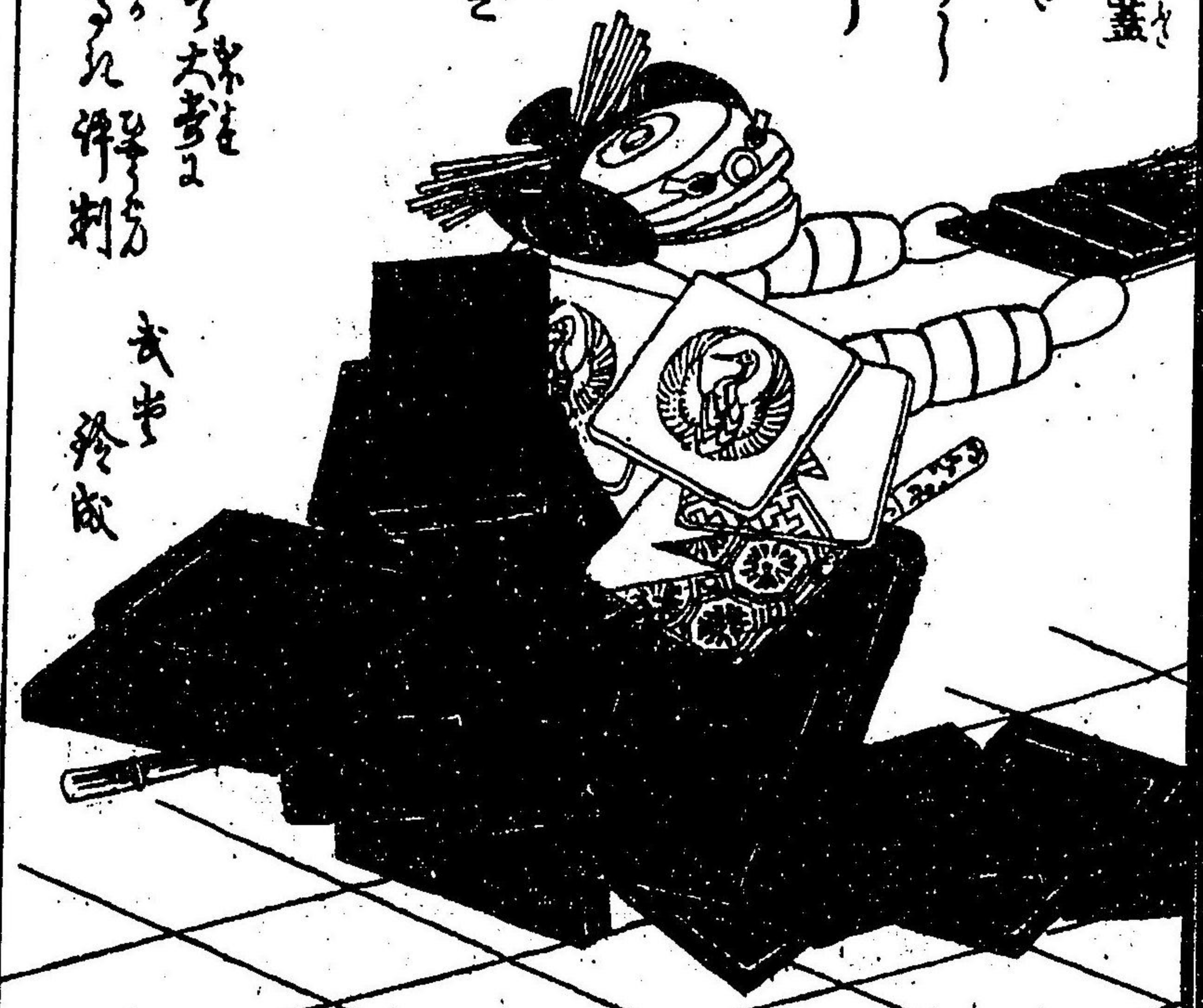
○つる石青漆小重管

○太刀右におあト

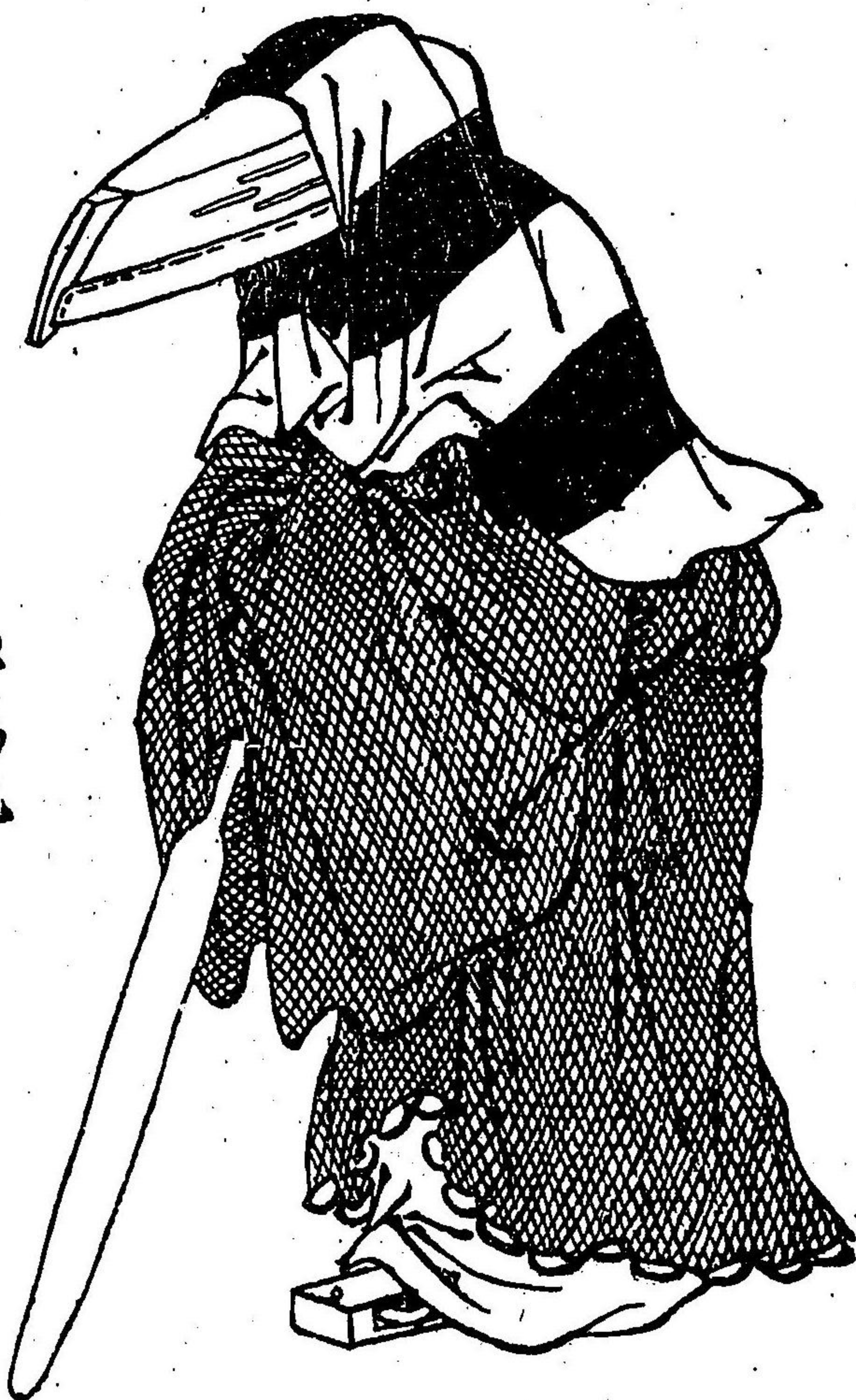
和田きぬ袋塗りの大き

草摺引のふれ件刺

武堂 終成



釣子
釣丸



釣場連
二田力米丸作

釣子

釣丸

釣子

釣丸

釣子

釣丸

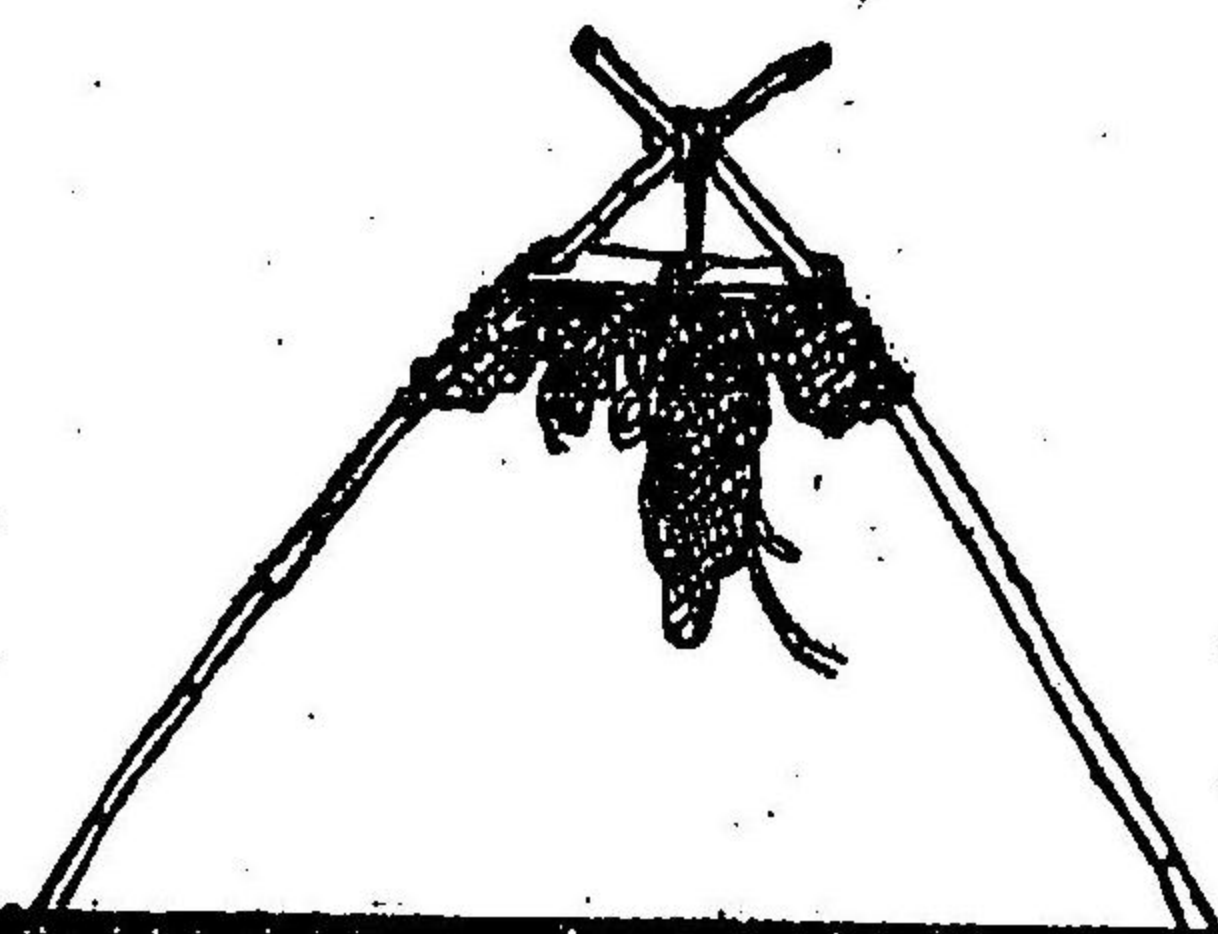
釣子

釣丸

釣子

釣丸

釣子



釣

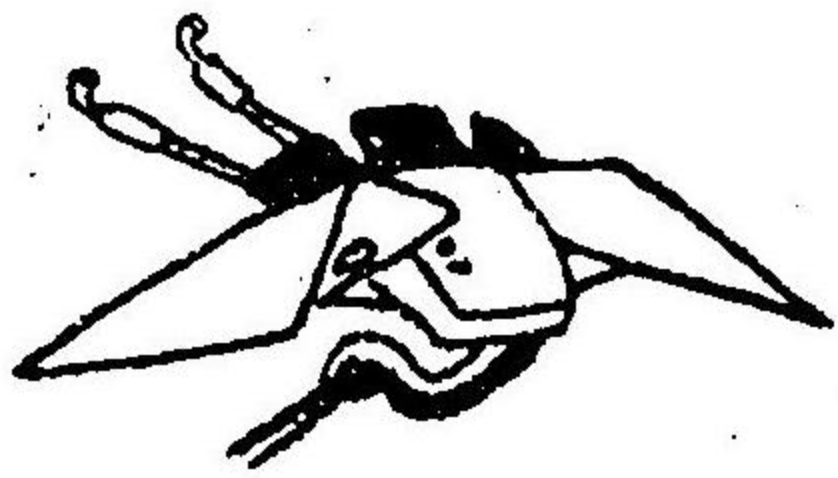
賣ト者

酒具用具一式

- 頭德利 ○手散とんぼ ○編笠井鉢
- 着物黒大平 ○机卓子臺
- 菫竹やじと揚枝筒 ○五子形焼物皿
- 書物角横長やりの四額ぶら形

寶船 襖物屋 式

- りんどう角横長焼物四枚
- 棠木つまじ筒六ツ



- 船もちりくろがみ袋
- 継守袋

積物 舟

- 欄干緋のききり竹筒
- ぎやしらんぐりけ箱
- 楯三ツ折紙入 同 振きる筒
- 帆折ききり筒
- 柱同上まがりのけニ
- 印守袋 ○鶴袖たこ入
- 首ききり筒 ○背ききり筒 ○尾黒袖たこ入
- 亀守り筒

○波淺黄漆台南軒入 ○浪の花

銀きりかん

お平茶



象 風呂場一式

- 胸とく風呂
- 頭ゆき
- 足腰ゆき
- 鼻かき石
- 牙てのやう
- 足小揃
- 爪ぬきざくろ
- 尾手ぬき
- 目ぬき

象奴

- からむら
- 胸出
- 手足より未堅炭
- 著りの手式
- 頭のや
- 持



おの

ふか

風呂道

おの

おとれ

おとれ

藤典作

富士牧将

庭廻雑具
一式



○富士山竹箒 ○雪木綿

○仁田郎 ○頭かぶる上へえり

○ひん王番 ○髪もろのまろの

○洞火けり

○手足塩

○足

ひの

- 短カ
- 胸のわら
- むらさ
- 太刀徳用
- 着物



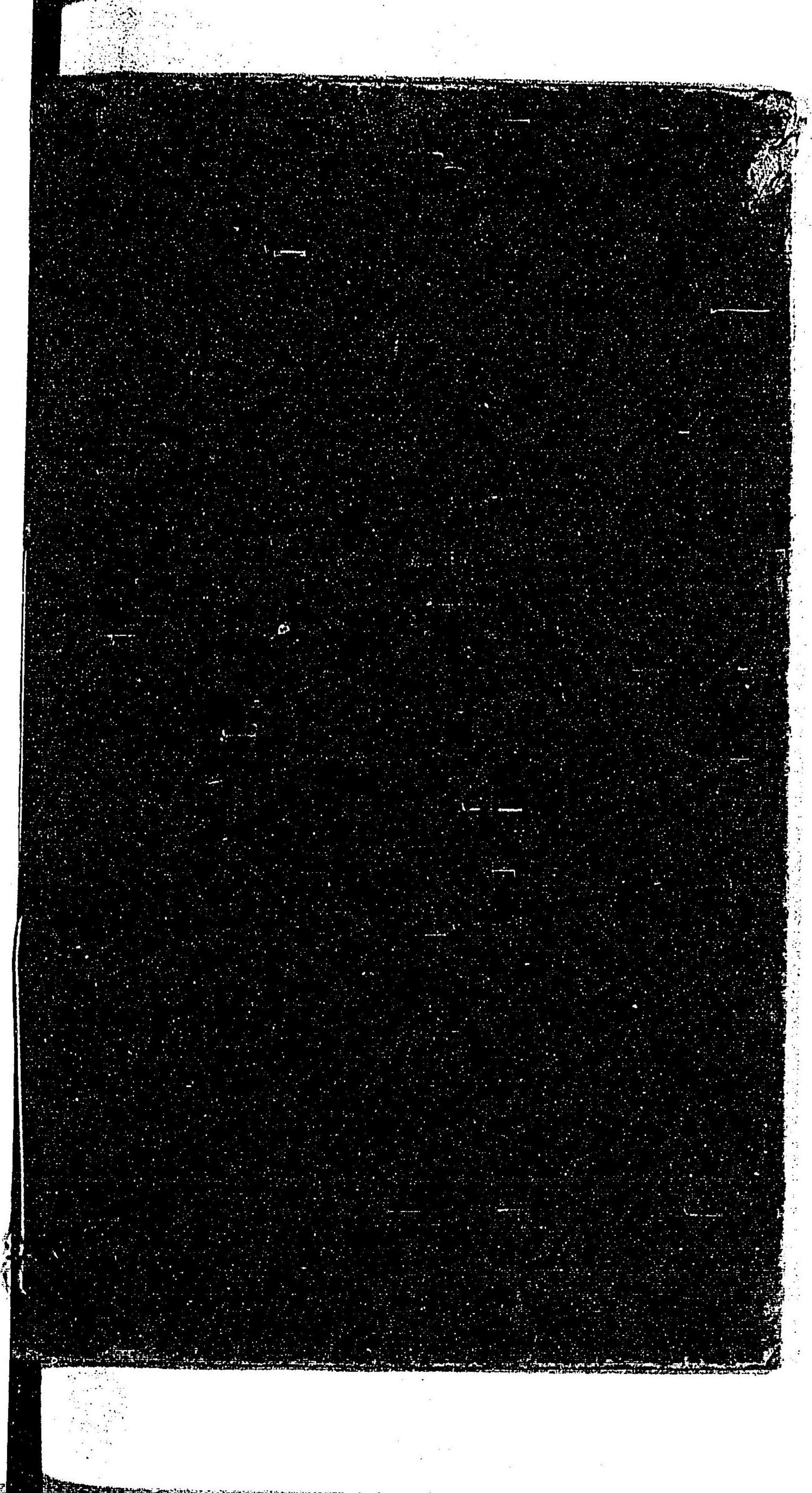
- 正
- 仁
- 他
- あ
- あ
- 鶏成
- 目
- 列卒
- 手
- 装束
- 鼻
- 身
- 足
- 破竹

○ 此の鳥は 鶴の一種にして 羽の
○ 色は 黒と 白と 交互に 入る
○ 故に 鶴の 一種にして 鶴の
○ 一種にして 鶴の 一種にして



就馬
たの
の

鶴遊
亀山作



特43
279

館書圖京東				
二冊	三八四號	別一架	遊技類	和書門

072185-001-4

特43-279

四季造ことの趣向種

松川 半山/画

乾

M17

CEF-0047

